



答弁中の中嶋町長

子ども議会の開催を

新たな取り組みとして検討する

問

将来の展望に立った教育の一環として、小中学生による子ども議会を提案します。子ども議会とは、小中学生の中から子ども議員を選出し、庁舎議場において、定例議会さながらに質問・発言をしていきます。

議長も子ども議員から選び、答弁は町長はじめ執行部があるという本格的なものです。未来の須恵町を担う子どもたちが、町への希望や期待な

どについて、質問・発言をすることで、町政や議会制度に対する関心と理解を深めることができるものと期待できます。

子ども議会開催についての考えは。

答 平松教育長

小中学生に町の仕組みや議会の仕組みを勉強させることは、大変重要なことだと考えています。

住んでいる町に関心を持ち、



田ノ上真 議員

将来須恵町を愛し、何らかの形で町に貢献していく姿を作り上げていく、まさに生涯学習を学ぶ第一歩だと考えます。実施を想定した準備には、議会、首長部局、教育委員会、学校現場との内容協議が必要です。

また、小中学校ともに学習指導要領が大幅に改訂され、授業時数が増加した中で、現在の教育課程の中に実務的に盛り込むことが、時間的なことを含めて可能なことか協議させる必要があります。学習指導要領改訂に伴う授業時数の増加対策、授業効果を高める教職員研修と資質の向上対策、社会教育と一体となつて推進している地域の教育力の向上、須恵町教育振興基本計画が目標とする教育効果を達成した後に、新たな取り組みとして検討します。



本議会の様子
(平成23年6月定例議会：一般質問)

第二幼児園建設の問題点をさぐる

25年度から開園を

問

昨今、須恵町の行財政の取組は積極的で、町民の理解を得ているところです。

中嶋町長は三期目の抱負で述べられたように攻めの方向性を打ち出されています。

そこで町長がかねてより進めてこられた第二幼児園の開設がいよいよ迫ってきていますが、第二幼児園開設にあたり子どもたちの安全・安心・人命を尊重することを第一に考え次のことを質問します。



大雨時、道路冠水が心配される
旅石宮ノ下交差点



田原 重美 議員

旅石宮の下地区の水没について、東幼稚園・かやの保育所の跡地について、第二幼児園の運営方法について、また開園の時期についてどのような考えられているのですか。

答 中嶋町長

造成工事につきましては、農地転用・開発許可がおり次

第着手していききたいので、今議会にその予算を計上させていただきます。

建設用地については、今の地盤高から1.5m程度の高上げをする計画をしています。

コンペ方式による建築設計を23年度に実施し、来年度当初で建築工事の予算を計上し、24年度中に建築工事を終了し、25年度から開園したいという思いです。

事業費について、総事業費を約7億8700万円と見込んでおり、用地費が2億900万円、造成工事費1億300万円、建築工事費4億5500万円、備品購入費2000万円を計画しています。

保育所、幼稚園の跡地についてはいずれ売却し、財源の一部に充当したいと考えており、運営につきましては公設公営でいくと考えています。水没の件につきましては、水路の嵩上げ、調整池の利用等、合流してくる水を分散させる方法をいろいろ検討します。